

登録コード	SGH11900	開講年度	2026					
授業題目	博物館実習Ⅲ					担当教員	加藤 千尋	
英文授業名	Practice of Museumology Ⅲ					副担当		
単位数	1	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期		対象学年	4年
講義室				授業形態	実習	遠隔授業科目	備考	博物館学芸員
信大コンピテンシー	非該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	【授業の達成目標】	
(2)授業で学べる「テーマ」	芸術文化、キャリア							
(3)全学横断特別教育プログラム								
(4)授業の概要	受講生は博物館実習Ⅱ前半において必要事項の自己点検と再確認を経た後、希望する博物館において資料の取り扱いや展示などの館園実習を行う。なお、この科目は、館園実習の事前・事後教育を目的とする学内講義科目である博物館実習Ⅱと連動している。							
(5)授業のキーワード	人類知の継承と未来創造マインド 博物館 博物学 博物館法 生涯教育 博物館学芸員							
(6)授業計画	博物館・美術館における館園実習 第15回目に授業の最後の15分で授業アンケートを実施する。							
(7)成績評価の方法	実習受入博物館の評価および実習録による。							
(8)成績評価の基準	実習録から判断して、学芸員になるための経験と学修の成果が上がったと判断されれば可、じゅうぶんな成果が上がったと判断されれば良、とくに高い成果が上がったと判断されれば優、実習受け入れ先からとくに高い評価があった場合は秀とする。							
(9)事前事後学習の内容	実習にあたり、それまでに学んだ博物館関係の従業内容について復習をすること。実習時には、翌日の内容についてじゅうぶん下調べを行い、実習に望むこと。また、毎日の実習後には記録を取り、実習内容を振り返ること。							
(10)履修上の注意	博物館学芸員資格関連の他科目をすべて履修しておくこと。実習の説明（事前指導）時に、実習時の注意事項についてよく理解しておくこと。							
(11)質問,相談への対応								
【教科書】	なし							
【参考書】	「学芸員の仕事」神奈川県博物館協会編 磐田書院							